



嬉泉の新聞 第55号 2004年(平成16年)7月発行(年3回発行)

発行所=社会福祉法人嬉泉

東京都世田谷区船橋1-30-9(〒156-0055) TEL 03-3426-2323

<http://www.kisenfukushi.com> E-mail:kisen@kisenfukushi.com

発行人=石井哲夫

編集人=友田 篤

「秘められた能力」

国際医療福祉大学 名誉教授 初山 泰弘

「失われたものを惜しまず、残された機能を最大限に發揮する」は、障害ある人々のリハビリテーションや福祉関連分野で古くから伝えられている言葉である。手が動かない、目が見えない、うまく話せないなど障害の状態の判断は、その道の経験を積み重ねれば、自然と身についてくる。

しかし、その人が将来どのような能力を發揮するようになるか予測することは極めて難しい。

30年近く前のことである。肘から下10センチほどで両腕を失った女性が、家庭の主婦として二人の子供を育て家事全般をこなしているという。その実生活を教材用に撮影した記録フィルムを見て驚いた。子供の着替えをはじめ、料理、洗濯から、左右の前腕を使って針に糸を通しシャツにボタンをつけるまで自分一人で行っている。その方の若い頃は、まだ良い義手や機能訓練の専門職制度などはなかった時代なので、そのような技術を身につけるために、本人はもちろん、その周囲の方々が費やされた努力は想像を超えるものであったろう。

国際障害者スポーツ大会に参加した折に、全盲の選手が走り高跳びに挑戦し、見事にバーをクリヤーする姿をみて胸が熱くなった思い出や、脳性まひで、両手に著しい不随意運動(アテトーゼ)のあるAさんの力強い書に接して、よくここまで感じいったこともある。普段の手の動きからはとても想像もできない。

このように、目の前の障害像からは想像もできないような力を發揮している人びとに出会うたびに、人の能力を予測することが本当に難しいと実感させられる。

これも古い話で恐縮だが、30数年前、わが国の障害者用乗用車は、車の重量制限があり、大型車の自動車訓練は行われていなかった。また出かけたイギリスの障害者競技大会で、スエーデンから大型車に家族を乗せて参加している車椅子の選手に出会い、話を聞くと、車は大きいほうが安全なので、障害者だからといって車種の制限をするのは可笑しいのではないかと反論された。もちろん、現在はそのような制限は撤廃されている。

私どもは、日常、障害のある人々の将来能力を予測する場合に、現障害の種類や程度を基に、自分の経験や関連書を参考にして、過小評価してしまうことはないだろうか。また保護すると言う名目で、彼らまたは彼女らの将来を狭めていることはないだろうか。

十分に時間を掛けて対象者と話し合い相互理解を深めることと、5年、10年、20年と長期間にわたって対象者の足跡を辿っていくことが、将来を正確に予測する基本と思うのだが、実行するには努力を要する。また、その人の能力は、その後の環境にも左右される。

人は役割を与えられると、思いもよらなかつた素晴らしい力を發揮することがある。そのような意味では、障害ある人に、いろいろな役に挑戦できる機会を与えるなり、教育や職業などの研修場面で組み込まれるロールプレイング技法なども、実生活までもっと試みられて良いのではないかと思う。

障害ある人々に、社会がもっと開かれることが「秘められた能力」を発揮する量も良い方策かもしれない。

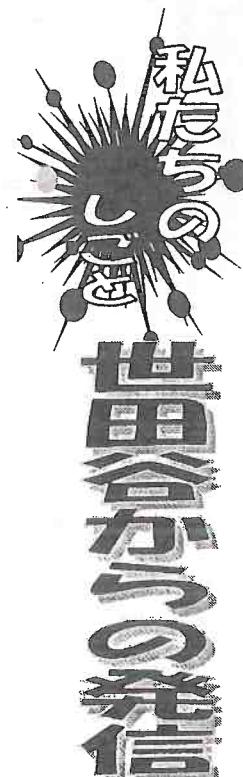
「泉わく・ワク会」

山根美江子

子どもの生活研究所 福祉活動
センター よろこびでは、自閉症児の余暇活動を豊かにすることと、自閉症をより理解できるボランティアの育成を目的とした活動をしています。それが、「泉わく・ワク会」です。この活動は、毎月第4土曜日午後1時から6時頃までで、子どもの生活研究所で行っています。

- * 自閉症に関心がある方
- * 体力に自信がある方（元気な自閉症児たちと外遊びを行うので）
- * 継続的に活動ができる方

という呼びかけを近くにある大学や各区にあるボランティアセンターを通して行いました。現在20名の大学生が希望しています。ボランティアを希望された方々には、自閉症児と遊んだり、工作や調理



等をする中でアドバイスを受けたり、またその後の職員との話し合いで関わった自閉症児への理解を深めていけるような体験を提供できるように心がけています。

4月から2回の「泉わく・ワク会」が終わりましたが、どの人にも“自閉症児に関わってみたい”という意欲が感じられると同時に“どうしてなの”という戸惑いが



面を紹介したいと思います。他の友だちがプラレールを並べて電車を走らせていました。その光景を見つけて食い入るように見始めた子どもがいました。担当していた方は、「電車に興味があるんだな」と思いながらそばにいたようですが、「この遊びのどこに気持ちを向けているのかな?」と職員から質問されているうちに「電車が鉄橋を渡ると今まで開いていた橋が閉じて、通過すると、又開くところ」や、「電車が一定のリズムで走っていくスピード感」を感じ取ったようです。電車が線路からはずれてしまうとキーキー云つて騒いでしまうので、はずれたら素早く修復してあげている職員の対応にも、「小学生なのに大人がな

うして遊びや工作等に向かっている子どもの表面の姿だけではなく、その時の子どもの気持ちをとらえていけるようになるのではないか」と期待しています。



この「泉わく・ワク会」は、東京都自閉症・発達障害支援センターとも連携し、自閉症に関する基礎的な知識や対応に関する講義も組み入れていくことを考えています。継続的に参加していただき、専門的な対応でできるボランティアの育成を目指していきたいと思っています。

(子どもの生活研究所)

私たちの じかん

赤塚からの発信

「パソコン活動の現在と展望」

米山 貴志

今回は赤塚福祉園での多くの活動の中から、パソコン活動に焦点を当てて、ご紹介していきたいと思います。赤塚福祉園では利用者専用のパソコンが4台用意されています。デジカメ等、急速に普及しているデジタル機器の他にも、一般の家庭にはあまり見られない周辺機器も揃っています。

活動の内容は各グループの必要に合わせたものになっています。例えばワープロソフトを利用して、親しい人に手紙を書くことから始めて、手紙を書くために好きな文字をイラスト化したカードを作成することもあります。頻度は多くないですが、電子メールを使用した文通も時折行なっています。

また、福祉園在籍の中にはインターネット上に自分のホームページを作っている方もいらっしゃいます。

ます。しばしば、園内のパソコンも使って更新しながら作り直しているようです。他にも、園内のパソコンを利用してインターネットを使って調べものをしたり、好きなイラストをダウンロードしたりしている方もいらっしゃいます。

一方、仕事としてパソコンを活用している方も多いらしいです。好評を博している「ふくふくパン」のラベルや販売用カードなど作成や、支援員から依頼され関係者へのお礼状を作成したりなど仕事の道具としてパソコンを位置づける場合もあります。

さらに言葉が明瞭でない方の発音の助けとして、いったん文字として入力してから言葉にしてもらうという作業を通して、発音の練習をしてもらっています。さらにコミュニケーションの力を育んでいくことを目標にパソコンに入力された文字と絵、それと自分の言

葉を照らし合させて言葉の音と意味を結びつけていくことも行なっています。授産施設では、前年度より自主生産活動の幅を広げて、パソコンを利用した作品を作っています。商品を入れなどを作成しています。商品に直結するだけでなく、園内での活動に使うカードや、表、さらに行事で使用している看板なども利用者の自主性に任せて作成・印刷してもらっています。

パソコンの技術の発展によって環境が大きく変化している中、赤塚福祉園としてもその流れをよく見極めて、対応していく必要があると感じています。赤塚福祉園で

さらに安心した暮らしを支えるための技術も発展しています。慎重な運用が前提ですが、例えば非常時の警報だけではなく、困った時に気軽に連絡が取れるテレビ電話や、離れたところに暮らす人の水道や電気、電化製品の使用状況がメールで連絡され、それを元に安全を確認するシステムの導入も検討したいところです。

今後、赤塚福祉園としても、利用者の豊かな生活の助けになるようなパソコン等のデジタル機器の利用法を、みなさんと共に一緒に考え、実践していきたいと考えています。

(授産施設職員)



活動風景

私たちの袖ヶ浦からのお発信

平成十六年

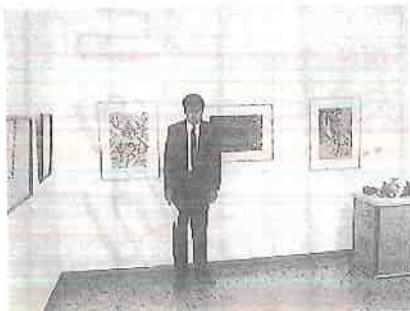
アトリエ・アウトスの活動
一尾 弘志

陶芸・絵画作品を創作する活動
を続いている「アトリエ・アウトス」

が、袖ヶ浦のびる学園二十周年を機に発足してから平成十六年度で六年目を迎えます。

平成十六年に入り、株式会社・朝日アートコミュニケーション主催の公募「バリアフリー・アート・プロジェクト」で、市川浩志さんの『馬鹿アラジン』、浜ノ園武生さんの『ロブスター』、持田想一さんの『マイワシ』(いずれも絵画作品)が入賞し、同年八月十八日～二十四日にデンマークのコペンハーゲンで開催される『創造の奇蹟展』に出展されることになります。

また、平成十六年五月十三日（木）～二十五日（火）まで、東京都世田谷区の玉川高島屋「ル



第5回アートフレンズ展での市川浩志さん（作品の前で）

には『第五回アートフレンズ展』（千葉市美術館市民ギャラリーにて開催）に作品を出品し、さらに昨

六月八日（火）～十三日（日）に『第五回アートフレンズ展』（千葉市美術館市民ギャラリーにて開催）に作品を出品し、さらに昨

年に引き続き、十一月一日（火）～七日（日）には、世田谷区地域保健福祉文化事業の一環として、世田谷美術館区民ギャラリーBでの『アトリエ・アウトス展』を予定しています（その他の作品展、美術館にも出展を予定しています…）。

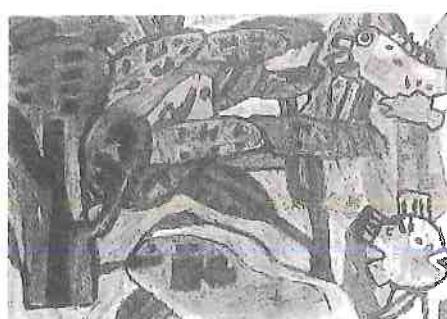
平成十六年も、さまざまな方たちと知り合い、ご協力を得てきましたし、これからもいろいろな方たちにお世話をなると思います。個々のお名前を挙げることはこの紙面では足りませんので割愛させて頂き、申し訳ございませんが、本当に感謝をしています。

アトリエ・アウトスの活動も広がり、作品が売れて収入を得たり、作家個人のファンが増えたりしています。アウトスの作家たちも、作品展に参加したり、オンラインギングパーティーに参加したり、作品を通しての「社会参加」を実践しています。さらなる活動の幅を広げています。

一方で、活動を続けて六年目としてはいえ、専門的なアドバイスを受けたり、さまざまな分野での経験を続けてなくてはと思っています。

また、原画や作家本人と交流をもつて頂くことも重要ですがポスト

カードやカレンダーなどなど、作品の複製品やグッズを作ることによって、さらに多くの人々にアウトスの作品に触れて欲しいとも思っています。



『熱帯魚2』
持田想一さん作

(袖ヶ浦ひかりの学園支援員)

嬉泉トピックス

◆ 第21回
【案内】

自閉症実践療育セミナー
テーマ … 自閉症支援の最新課題

臨床実践の事例報告、発達障害支援法についての講義等、自閉症支援に関する最新の話題を企画しています。▼

◆ 第40回嬉泉バザー
【報告】
役員二名が

春の叙勲の対象に
石井哲夫常務理事と杉浦宏章監事が、春の叙勲の対象になり、石井常務理事は、『瑞宝章中綬章』、杉浦監事は、『瑞宝章双光章』をそれぞれ授与されました。

【写真・瑞宝章中綬章】



セミナー・催し物についての
お問い合わせ・お申し込みは
子どもの生活研究所
(03・3426・2323)

◆ 自閉症・東京福祉資源
福社医療機構(旧) 社会福祉・
ターベースの構築事業が完了し
ました。嬉泉のホームページで
公開しています。
<http://www.kisenfukushi.com>

平成15年度

社会福祉法人 嬉泉
寄付者名簿

(敬称略・順不同)
浜ノ園利夫・村岡精一・山本清恵・

賀戸文彦・若林久美子・湯浅正・

大山勝地・小林秀一・小原ナツ子・

田中瑛也・吉原貞・山田美和子・

二木俊彦・舎官靖子・木村元正・

木村珠江・鈴木佳子・小林陽子・

黒林美江・大塚ちあき・工藤邦英・

齋藤穂・小林美津江・市川みみ・

高田昇一・山岸陽子・池上やす子・

土谷新・荒井恒夫・齋藤稔・

朝賀昭・早瀬進・納土郁子・
館裕・工藤正路・新妻主計・

村田操・田辺和夫・池上嘉信・

山口潔・片桐一平・時永康男・
井出正代・野田康夫・水島和夫・

綱川省三・下田明彦・田中吉男・

(左頁に続く→)

協力施設 …埼玉県自閉症・発達

障害支援センター「まほろば」、

あさげ学園・支援センター

ヘエリック・ショプラによるTE

ACC Hについての特別講演、

強度行動障害や高機能自閉症の

受講料 … 20,000円

市川宏伸、柏木理江、津金澤寛、

沼倉実、藤平俊幸、松本知子、

石井哲夫、山崎晃資(敬称略)

日時 … 7月28日(水) 10月9日(土)

7月30日(金) 10月10日(日)

会場 … 全社協・灘尾ホール

・ 1日参加 10,000円

2日参加 17,000円

定員 … 300名

協力施設 … 埼玉県自閉症・発達

障害支援センター「まほろば」、

あさげ学園・支援センター

ヘエリック・ショプラによるTE

ACC Hについての特別講演、

強度行動障害や高機能自閉症の

◆ アトリエAUTOS展
会場 … 世田谷美術館

会場 … 世田谷美術館

・ 新役員・評議員のご紹介
新監事

猪鼻和彦氏(五月十五日付)

猪鼻税理士事務所勤務

安田正貴氏(六月一日付)

世田谷サービス公社勤務

平成15年度 事業報告

社会福祉法人 嬉泉

1) 理事会並びに評議員会の開催状況

回数	開催日	議事内容
1	15.5.23	・14年度事業報告・14年度決算・諸規程改正・支援費制度移行に伴う繰越金等の取り扱いについて・自閉症・発達障害支援センター苦情解決体制整備
2	15.9.13	・補正予算・給与規程改正
3	15.12.12	・補正予算
4	16.3.20	・補正予算・16年度事業計画・16年度予算・定款変更・諸規程改正 ・東京都指導検査指摘事項の改善報告・新規事業の開始・園長人事 ・評議員委嘱・役員選任

2) 施設整備等

① 東京都安全対策設備整備事業

東京都の補助金を受け、袖ヶ浦のびろ学園に夜間の安全対策としてセンサー付防犯灯を設置した。
所要額 280,245円

② 千葉県粒子状物質減少装置装着助成事業

千葉県の補助金を受け、袖ヶ浦のびろ学園利用者送迎バスの車両排気ガス規制対策として粒子状物質減少装置を装着した。

所要額

1,218,000円

③ 千葉県粒子状物質減少装置装着助成事業

千葉県の補助金を受け、袖ヶ浦ひかりの学園利用者送迎バスの車両排気ガス規制対策として粒子状物質減少装置を装着した。

所要額

1,050,000円

3) 社会に向けての活動

① 第20回自閉症実践療育セミナー(主催)

テーマ『新しい療育への出発』
平成15年7月31日～8月2日 於；全社協・灘尾ホール

② 第1回高機能広汎性発達障害セミナー(主催)

テーマ『高機能広汎性発達障害の基本的理解を深める』
平成16年1月17日～18日 於；主婦会館プラザエフ

③ 「嬉泉の新聞」の発行

第52号(7月発行)、第53号(11月発行)、第54号(3月発行)

④ インターネット・ホームページ更新

<http://www.kisenfukushi.com>

⑤ 第39回嬉泉バザー

平成15年10月4日・5日 於；烏山区民センター前広場、子どもの生活研究所

⑥ 第26回嬉泉祭りバザー

平成16年2月29日 於；須藤福祉センター袖ヶ浦(袖ヶ浦のびろ学園・袖ヶ浦ひかりの学園)

⑦ 苦情解決第三者委員の設置

以下のように各事業所において、苦情解決第三者委員を設置し、苦情の解決に努めた。また袖ヶ浦においては、この3名をオンブズ・パーソンとしても委嘱し、サービス評価を実施した。

事業所	氏名	性別	推薦区分	職業
世田谷	高橋利一	男	関係団体	法政大学教授
	小沼 肇	男	関係団体	静岡英和学院大学教授
	安藤真洋	男	関係団体	ディセンターやまびこ施設長
	金子恵美	女	関係団体	日本社会事業大学助教授

袖ヶ浦	村田保太郎	男	関係団体	白梅学園短期大学教授
	山田美和子	女	関係団体	元全国社会福祉協議会職員
	石原敦夫	男	保護者代表	伊藤忠商事社員
板橋	関谷公二	男	地域代表	泉福寺住職(元篠ヶ谷戸町会長)

⑧ アトリエAUTOSの活動

・第4回アートフレンズ展

平成15年5月20日～5月25日 千葉市美術館(市民ギャラリー)

・アートハーツ展

平成15年5月20日～5月25日 画廊スペースガレリア

・アトリエ・アウトス展(世田谷区障害者アート展)

平成15年11月3日～9日 世田谷美術館区民ギャラリー

・第7回ほっとinふなばし芸術祭

平成15年2月3日～8日 船橋市民ギャラリー(千葉県船橋市)

・「バリアフリー・アートプロジェクト“ISAIA”」への応募

市川・持田・浜ノ園の3氏の作品が入賞し、平成16年8月にデンマークにて開催される「芸術世紀フェスティバル～「創造の奇蹟」展に出品されることになった。

4) 東京都自閉症・発達障害支援センター事業の主な活動

① 相談支援の内容別総括表

	福祉	医療	教育	療育	就労	住宅	自閉症の理解・知識	具体的な対応へのアドバイス	家庭内の関係調整	その他	計
本人	7件	22件	3件	0件	0件	0件	212件	69件	8件	53件	190件
家族	87件	36件	80件	44件	11件	1件	184件	508件	59件	121件	1131件
計	98件	58件	83件	44件	1件	1件	205件	577件	67件	174件	1321件

② 普及啓発のための療育講座(講師:センター長 石井哲夫)

・第1回 テーマ「自閉症支援への連携・必要とされる真の支援とは」
平成15年7月2日 於; 世田谷区桜丘区民センター 参加者: 227名

・第2回 テーマ「自閉症の理解と援助の基本的な考え方」
平成15年10月25日 於; 台東一丁目区民館 参加者: 280名

・第3回 テーマ「自閉症の理解と援助」
平成16年3月13日 於; 白梅学園短期大学 参加者: 604名

5) 通常事業一覧

施設種別	名称	施設長氏名	利用者定員(暫定)	職員数
知的児童園	子どもの生活研究所めばえ学園	大岩香代子	30(23)	15
第二種自閉症児	袖ヶ浦のびろ学園	山根美江子	60(58)	58
知的更生	袖ヶ浦ひかりの学園	川相智史	44	47
知的授産(通所)	東京都板橋区立赤塚福祉園	友田篤	40	12
知的更生(通所)	東京都板橋区立赤塚福祉園	友田篤	50	40
知的更生(通所)	おおらか学園	石橋悦子	20	13
家庭児童相談	子どもの生活研究所こぐま学園	石井哲夫		6
地域生活援助	グループホーム春のひかり	川相智史	4	2
保育所	すこやか園	津留明子	36	19
児童短期入所 知的短期入所	地域生活支援センターたのしみ	山根美江子 川相智史	日中利用 10 宿泊 空床+2	—
緊急保護	東京都板橋区立赤塚ホーム	友田篤		15
東京都自閉症・発達障害支援センター	石井哲夫			5

總括事業活動收支計算書

法人名　社会福祉法人 煙草
(自)平成15年4月1日
16年3月31日

資金收支決算內訛表

総括貸借対照表

法人名 社会福祉法人 嬉泉
平成 16年 3月 31日現在

科目	資産の部			負債の部			
	当年度	前年度	増減	科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
流动資産							
現金預金	345,402,745	-13,787,412	流動負債	65,725,940	72,762,221	-7,223,281	
有価証券	331,615,333	321,374,995	-44,039,394	短期運営資金借入金 未払金	6,799,930	2,895,257	3,904,573
未収金	0	0	0	預り金	52,771,671	62,539,082	-9,954,411
貯蔵品	42,274,781	16,305,322	25,968,959	前受金	6,154,439	7,327,882	-1,173,443
立替金	0	0	0	仮受金	0	0	0
前払金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
短期貸付金	4,751,121	4,372,671	378,450	固定負債	0	0	0
仮払金	6,799,830	2,895,257	3,904,573	設備資金借入金	285,392,919	342,189,224	-56,796,305
その他の流動資産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
経理区分勘定	454,000	454,000	0	長期預り金	0	0	0
固定資産				退職給与引当金	0	0	0
基本財産	1,923,989,428	2,011,983,222	-87,993,794	長期特定引当金	0	0	0
建物	1,568,660,334	1,617,127,191	-48,466,857	経理区分勘定	0	0	0
土地	987,060,334	1,035,527,191	-48,466,857	負債の部合計	351,118,859	414,951,445	-64,019,586
基本財産特定預金	581,600,000	581,600,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	355,329,094	394,856,031	-39,526,937	基本金	969,718,279	1,220,246,970	-250,528,691
建物	64,779,282	68,278,215	-3,498,933	基本金	969,718,279	1,220,246,970	-250,528,691
構築物	728,980	1,477,177	-748,197	国庫補助金等特別積立金	371,952,469	400,649,656	-28,697,187
機械及び装置	489,235	0	551,250	国庫補助金等特別積立金	371,952,469	400,649,656	-28,697,187
車輛運搬器具	11,311,309	14,329,237	-3,017,928	その他の中積立金	0	0	0
器具及び備品	22,124,704	27,269,841	-5,207,152	移行時特別積立金	48,500,000	53,500,000	-5,000,000
土地	170,741,375	170,741,375	0	人件費積立金	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	修繕費積立金	34,800,000	34,800,000	0
権利	0	0	0	備品等購入積立金	8,200,000	12,200,000	-4,000,000
投資有価証券	6,398,962	6,398,962	0	その他の積立金	5,500,000	6,500,000	-1,000,000
長期償付金	0	0	0	次期繰越活動収支差額	514,315,154	268,037,896	246,464,258
公益事業会計元入金	0	0	0	(うち当期活動収支差額)	514,315,154	268,037,896	246,464,258
収益事業会計元入金	0	0	0	0	-14,840,274	24,856,883	-39,510,157
措置施設繰越特定預金	0	0	0	純資産の部合計	1,904,485,902	1,942,434,522	-37,761,620
移行時特別積立預金	34,800,000	34,800,000	0				
移行時減価償却特別積立預金	8,200,000	12,200,000	-4,000,000				
人件費積立預金	5,500,000	6,500,000	-1,000,000				
修繕費積立預金	30,255,247	52,861,224	-22,605,977				
その他の固定資産	2,255,604,761	2,357,385,967	-101,781,206	負債及び純資産の部合計	2,255,604,761	2,357,385,967	-101,781,206
資産の部合計							

財産目録

平成16年3月31日現在

社会福祉法人 嬉泉

資産・負債の内容	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金	416,718
預金	276,918,883
未収金	42,274,781
前払金	4,751,121
その他流動資産	454,000
流動資産合計	324,815,503
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
建物	987,060,334
土地	581,600,000
基本財産合計	1,568,660,334
(2) その他の固定資産	
建物	64,779,282
構築物	728,980
機械及び装置	489,235
車両運搬具	11,311,309
器具及び備品	22,124,704
土地	170,741,375
投資有価証券	6,398,962
人件費積立預金	34,800,000
修繕費積立預金	8,200,000
備品等購入積立預金	5,500,000
その他の固定資産	30,255,247
その他の固定資産合計	355,329,094
固定資産合計	1,923,989,428
資産合計	2,248,804,931
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	52,771,671
預り金	6,154,439
流動負債合計	58,926,110
2. 固定負債	
設備資金借入金	261,416,000
退職給与引当金	23,976,919
固定負債合計	285,392,919
負債合計	344,319,029
差引純資産	1,904,485,902